

# 共に歩む

第14回



ている。

## 【製品販売へ】

今回開発した「非接触体温計」は、静電気や電磁波の照射に対しても誤動作せず、放射されるノイズも規定のレベル以下であることなどが確認された後、認証機関により医療機器番号を取得している。さらに発展型のモデルも開発中である。

本製品は特許も出願済み、現在は国内の量販店へルスカア分野の発展にも寄与できた。今後は欧州やアジア等の海外に向けた販売も計画を支援していきたい。

【執筆】電磁技術係 川端広一

今回は、洪川市の日本などで人の体温を衛生的に精密測器と群馬産業技術センターで共同開発を行った「非接触体温計」を紹介する。

## 【製品開発の背景】

日本精密測器は血圧計や脈拍計、血中酸素濃度を測定するパルスオキシメーター等の医療機器及びカメラ用の絞り関連機器等の精密機器を製造販売する企業である。

## 「非接触体温計」の開発

人体の検温は体調管理の基本で、従来の水銀式から電子式に体温計も変化するが脇の下の腋窩温(えきかおん)、口内温(くちのう)、直腸温(ちくじやう)など人体と接触して数分から数十分の安静状態で測定する必要がある。

### 【製品販売へ】

近年、感染症などへの関心から人の多く集まる空港や病院、学校、職場

という要望が多いため、E.M.C試験では、販売する電気製品に対し、S、I、E、C等で規定の要求事項を満たすか試験を行った。

また、開発の体温計では物体が放射するエネルギーから対象物の温度を測定する放射温度センサーを加え距離センサーを用いることで測定時の測定精度を常にごく一定とし

ることが可能となる。本製品は特許も出願済み、現在は国内の量販店へルスカア分野の発展にも寄与できた。今後は欧州やアジア等の海外に向けた販売も計画を支援していきたい。

【執筆】電磁技術係 川端広一

群馬県立産業技術センター 県内中小企業の支援機関として、03年に前橋と太田に開設した公設試験研究機関。技術支援、人材育成などを行う。

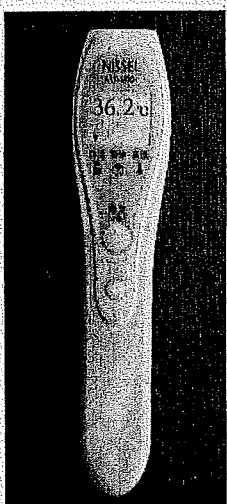
「非接触体温計」の開発 日本精密測器 開発した「非接触体温計」は決して大掛かりな計測結果をグラフ表示させ、より効率的に体調管理に病気が治るといってもいい。例えば毎日の測定したデータをグラフ化し、インフルエンザを少し減らし、長寿等の発症などの日々の体調変化にも素早く対応する製品の開発に同センター

測定部位の額と腋窩温測定する放射温度センサーを加え距離センサーを用いることで測定時の測定精度を常にごく一定とし

ることが可能となる。本製品は特許も出願済み、現在は国内の量販店へルスカア分野の発展にも寄与できた。今後は欧州やアジア等の海外に向けた販売も計画を支援していきたい。

【執筆】電磁技術係 川端広一

群馬県立産業技術センター 県内中小企業の支援機関として、03年に前橋と太田に開設した公設試験研究機関。技術支援、人材育成などを行う。



開発した「非接触体温計」

